



# 「第24回鹿児島・香港交流会議」の開催と香港における各種プロモーションなどの実施

鹿児島県観光・文化スポーツ部国際交流課

## はじめに

鹿児島県は、日本の西南部に位置するという地理的条件にあり、歴史的にも交流の門戸として諸外国との交流を続けてきました。そのため、現在でも、香港、シンガポール、韓国全北特別自治道、中国江蘇省、台湾屏東県、ベトナムハイズオン省、米国ジョージア州、英国など、世界のさまざまな国・地域との国際交流を行っています。

その交流の中でも、今回は2024年11月に開催した「第24回鹿児島・香港交流会議」について紹介します。

## 第24回鹿児島・香港交流会議

鹿児島県と香港との間では、1972年の国際定期航空路線開設を契機として交流が始まり、1980年に鹿児島で「第1回鹿児島・香港交流会議」を開催して以来、40年以上の長きにわたり、2年おきに、相互の地において同会議を開催しており、この交流会議を軸に、さまざまな分野で交流を展開しています。鹿児島県は、香港との間で定期的な交流会議を行う日本唯一の自治体であり、香港がめざましい経済発展を遂げた現在でも変わらず交流を継続しています。

2024年11月6日から9日までの日程で、塩田康一

知事をトップとする鹿児島県訪問団が香港を訪問し、「第24回鹿児島・香港交流会議」を開催しました。前回と前々回は、新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催としたため、対面での開催は、鹿児島で開催した2018年以來の6年ぶり、香港での開催は2016年以來の8年ぶりとなりました。

今回の交流会議では、県議会や経済団体の代表者、香港特別行政区政府民政青年事務局のエリック・チャンコミッショナーをはじめ、文化・スポーツ観光局、香港政府観光局、香港貿易発展局、香港総商会、香港かごしまクラブなどの代表者と、経済、観光、芸術文化、青少年など幅広い分野の交流について意見交換を行い、今後の交流の継続と、次回の交流会議は2年後の2026年に鹿児島で開催することを合意しました。

## 香港における各種プロモーションなど

### (1) 県産品の販路拡大など

今回の交流会議に併せて、香港の高級ホテルの日本料理のレストランにおいて、本県産品を使用したレストランフェアを開催したほか、ホテル内のバーにおいて、トップバーテンダーが開発したオリジナル焼酎カクテルを中心とした本格焼酎フェアを開催、また、現地の大手飲食



鹿児島・香港交流会議



本格焼酎フェア

チェーンが運営する高級寿司店では、鹿児島県産の魚を使用した寿司をおすすめメニューで提供しました。



特産品 PR

加えて、香港訪問時に、トップセールスとして知事自ら、各イベントの責任者や、県産和牛を取り扱う流通事業者との面会を行い、本県が誇る食材を売り込みました。どの訪問先でも、本県産品への評価は高く、今後、香港への輸出拡大が期待できる結果となりました。



知事主催レセプション

また、交流会議直後に行った知事主催レセプションでは、交流会議出席者や在香港日本国総領事館、食品・流通、観光・航空関係者など、150人を超える方々をお招きし、鹿児島和牛やブリなど鹿児島の誇る食をご堪能いただきました。また、会場内に設置したPRブースでは、鹿児島の本格焼酎やお茶、黒酢を提供したほか、本県の観光地についてもPRしました。

## (2) インバウンド（訪日客）など

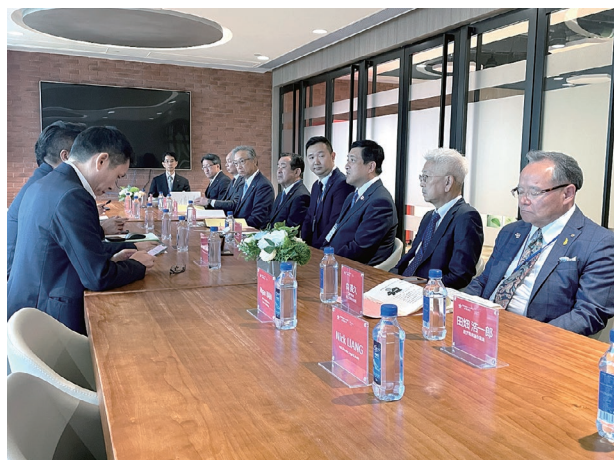
現地旅行会社などを対象にした観光セミナー・商談会を実施したほか、知事が現地の有力旅行会社を訪問し、

本県の観光地や宿泊施設を含むツアー造成について、トップセールスを行いました。

また、香港航空本社を訪問し、2024年3月に同社が運航する鹿児島－香港線が就航10周年を迎えたことから、これまでの運航への謝意を伝え、路線の安定的運航および利用促進などについて意見交換しました。同社からは、鹿児島－香港線を12月23日から1便増便し、週4便運航とする旨の表明がありました。



鹿児島県産和牛 PR



香港航空本社訪問

## おわりに

香港は、富裕層が多く、高い購買力、日本産品の高い知名度、関税や規制が少ないこと、また、鹿児島－香港間の定期航空路線により、香港と鹿児島との間の人の往来が活発であることなどから、県産品の販路開拓や観光誘客の有望な市場であると考えています。

今回の交流会議を契機として、今後、鹿児島と香港の協力関係がますます強くなることを期待しています。